



城陽市歴史民俗資料館

友の会だより

編集発行：城陽市歴史民俗資料館友の会
〒610-0121 城陽市寺田今堀1番地 城陽市歴史民俗資料館
TEL0774-55-7611 FAX0774-55-7612
<https://www.city.joyo.kyoto.jp/category8-3-2-0-0-0-0-0-0-0.html>
発行日：令和8(2026)年7月1日

No. **56**
2026.7

城陽市の文化財保護の推進に ご協力・ご支援を

城陽市歴史民俗資料館友の会会長就任のご挨拶

城陽市歴史民俗資料館友の会会長 **小泉 裕司**

この度、会長に就任いたしました小泉裕司でございます。

私は平成4年に城陽市職員に採用され、発掘調査や市指定文化財の指定、史跡管理など文化財保護行政に携わってきました。また、歴史民俗資料館の開館業務や開館後の特別展・企画展にも少なからず関わってきました。平成31年に城陽市を退職し、現在は(公財)京都府埋蔵文化財調査研究センターで発掘調査業務に携わっております。歴史民俗資料館とは、市職員時代には行政側からの関わりでしたが、市退職後は観覧する側からの支援をしていきたいと思い友の会に入会いたしました。友の会発足時に記念講演をさせていただいた折には、「友の会会員は歴史民俗資料館のサポーターであるとともに、城陽市の文化財のサポーターとなっていただければ幸いです。」とお話をさせていただきました。

今後は自らこのことを実践すべく、微力ながら努力していきたいと考えております。

会員の皆様におかれましては、歴史民俗資料館と友の会の発展、ならびに城陽市の文化財保護の推進に、ご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2026年度 城陽市歴史民俗資料館友の会 役員

役員名	氏 名	担 当
会長	小泉 裕司	友の会HP
副会長	泰地 賢治	渉外担当
会計	泰地 賢治	
理事	吉田 好男	渉外担当、ボランティア窓口
理事	高橋 正典	渉外担当、友の会HP
理事	村上 弘芳	講座・講演会担当(古文書講座)
理事	稲岡 計子	講座・講演会担当(文化財講座)
理事	野村 純司	講座・講演会担当(古文書講座)
理事	中村 康信	講座・講演会担当(文化財講座)
会計監査	島本 憲司	
会計監査	工藤 香代子	
顧問	工藤 香代子	
相談役	村上 直美	

第11回総会と記念講演会（報告）

1. 第11回総会

日時＝2026年2月22日(日) 13:30－14:00

場所＝文化パーク城陽寺田コミセン会議室

総会の成立＝成立(出席26名・委任31名 合計57名)

＊総会は、会員(現在69名)の2分の1以上(35名以上)の書面(委任状を含む)の提出をもって成立する(会則第13条第1項)

議事の結果＝下記的全議案(議案書をご参照)が、全員一致で可決されました

議案第1号：事業報告(2025年度)

議案第2号：会計報告(2025年度)

議案第3号：会則の改定(団体の所在地を「会長宅」から「城陽市歴史民俗資料館」に変更)

議案第4号：会長選出(小泉裕司氏)

議案第5号：2026年度事業計画(案)

議案第6号：2026年度予算(案)

2. 記念講演会

日時：2026年2月22日(日) 14:15－15:30

場所：文化パーク城陽寺田コミセン会議室

演題：城陽の文化財保護のあゆみ～城陽の文化財はこうして護られた～

講師：小泉裕司氏(京都府埋蔵文化財調査研究センター 調査課主査)

参加者：27名



友の会総会記念講演会

城陽の文化財保護のあゆみ ～城陽の文化財はこうして護られた～

城陽市歴史民俗資料館友の会 会長 小泉 裕司

1. 江戸時代

絵図（『平川村絵図』宝鏡寺所蔵）、旅行記（『千種日記』）や当時の観光ガイドである地誌（『山州名跡志』など）に城陽市内の社寺や古墳などの記述がみられる。城陽市内を奈良街道が通っていたことから、街道沿いの「社寺」や「古墳」などが注目されたと考えられる。

2. 明治～大正期

明治期には建造物などを中心にした文化財保護が全国的に行われ始め、城陽市では明治39年に久世神社本殿（室町時代中頃）・水度神社本殿（室町時代中頃）・荒見神社本殿（江戸時代初頭）が重要文化財に指定される。

また大学による学術的な発掘調査が行われ始め、城陽市では大正4年に京都大学の梅原末治により久津川車塚古墳の調査が行われ、大正9年にその報告書である『久津川古墳研究』がまとめられる。

3. 昭和期

戦前昭和期では、昭和13年に陸軍傷痍軍人療養所（現 国立南京都病院）内で整地作業中に青谷古墳が発見され、当時勤労奉仕中の京都師範学校（現 京都教育大学）により発掘調査が行われた。開発に伴う発掘調査としては最初期の事例である。

戦後昭和期は、高度経済成長により公共事業や民間開発が盛んに行われ、これに伴い文化財保護は「埋蔵文化財（古墳・遺跡）の調査」に重点が置かれる。

昭和30年代後半～40年代前半は文化財保護体制の黎明期で、市町村の文化財保護体制は確立されておらず、都道府県教育委員会による文化財保護が行われていた。城陽市（当時は城陽町）では昭和36年に宅地造成に伴う西山古墳群の発掘調査が京都大学と同志社大学により実施され、本格的な埋蔵文化財の調査が始まる。昭和38年～昭和40年代前半は主に京都府教育委員会により民間開発に伴う発掘調査（青塚古墳・長池古墳・青山1号墳・尼塚古墳群・尼塚方墳など）が実施される。

昭和40年代後半～60年代は、市町村の文化財保護体制が確立する。城陽市教育委員会により民間開発に伴う発掘調査が多く実施され、貴重な遺構が見つかった遺跡・古墳については国史跡に指定され保存（「史跡正道官衙遺跡（昭和49年指定）」・「史跡平川廃寺跡（昭和50年指定）」・「史跡森山遺跡（昭和53年指定）」・「史跡芝ヶ原古墳（平成元年指定）」）が図られた。この他には昭和54年に久津川車塚古墳と丸塚古墳が「史跡久津川車塚・丸塚古墳」として国史跡に指定された。埋蔵文化財の調査では、正道官衙遺跡発掘調査での空中写真撮影、調査会方式での芝ヶ原遺跡の発掘調査、民間の発掘調査専

門組織による上大谷古墳群の発掘調査など、全国的に早い時期に取り入れられた事例が多くある。また市民団体による保存活動が活発に行われたことも、埋蔵文化財保護においては重要な要因となった。昭和 61 年には城陽市文化財保護条例施行に伴い城陽市文化財保護審議会が設置され、昭和 62 年には最初の市指定文化財の指定（谷口家文書・芭蕉塚古墳）が行われた。

4.平成期

平成 4 年には「史跡正道官衙遺跡」、平成 7 年には「史跡森山遺跡」、平成 25 年には「史跡芝ヶ原古墳」の整備が完了した。

平成 7 年には城陽市歴史民俗資料館が開館し、平成 15 年には「城陽市歴史民俗資料館友の会」が発足した。

平成 8 年に『城陽市史第四巻』、平成 11 年に『城陽市史第三巻』、平成 14 年に『城陽市史第一巻』が刊行された。市史の編さんに伴う建造物・仏像・古文書などの調査が行われたことにより、市指定文化財の指定候補選定の資料となった。

平成 14 年には「近藤家住宅」が国登録文化財に登録、平成 16 年には極楽寺木造阿弥陀如来立像（鎌倉時代）が重要文化財に指定、平成 19 年には久世神社境内の久世廃寺跡が「史跡久世廃寺跡」として国史跡に指定、平成 23 年には「堀家住宅」が国登録文化財に登録、平成 28 年には「史跡久津川車塚古墳・丸塚古墳」に芭蕉塚古墳と久世小学校古墳（芝ヶ原 9 号墳）を追加して「史跡久津川古墳群」と名称を変更して国史跡に指定された。

平成 28 年には Joyo エコミュージアム事業が開始され、現在も継続中である。

5.令和期

令和元年には「史跡正道官衙遺跡」で地域住民団体による「城陽南マルシェ」が開催され、その後も年 2 回開催され市民による史跡地の活用が行われている。

令和 6 年には「文化財デジタルコンテンツ（遺物等を 3D 化）」の制作・公開が行われ、デジタル技術による文化財の活用が始められている。

6.まとめ

文化財保護は、戦後昭和期から平成前半期までは埋蔵文化財を中心とした調査及び保存に重点が置かれていた。平成後半期からは、文化財全般の普及・啓発・活用（地域振興や観光促進など）に重点を置かれるようになった。令和期では最新のデジタル技術を使用することにより文化財の普及・啓発・活用がさらに拡充・発展されるようになっている。

城陽市の文化財

国指定文化財（12 件）	
正道官衙遺跡	国指定史跡
平川廃寺跡	
森山遺跡	
久津川古墳群 久津川車塚古墳 丸塚古墳 芭蕉塚古墳 久世小学校古墳（芝ヶ原 9 号墳）	
芝ヶ原古墳	
久世廃寺跡	
久世神社本殿	重要文化財
水度神社本殿	
荒見神社本殿	
木造薬師如来立像（阿弥陀寺）	
芝ヶ原古墳出土品	
木造阿弥陀如来立像（極楽寺）	

府指定文化財（3 件）	
旦棕神社本殿	
（市辺）天満神社本殿	
木造地藏菩薩坐像（念仏寺）	

国登録文化財（9 件）	
近藤家住宅 主屋 離れ座敷	登録有形文化財
堀家住宅 主屋 離れ座敷 乾蔵 古蔵 東蔵 南蔵及び南蔵屋敷 長屋門	

※国登録文化財は 1 棟を 1 件とする

府登録文化財（5 件）	
荒見神社境内社 御霊社	
平井神社本殿	
末社若宮八幡社本殿	
鳥居 一基	
旅籠松屋関係資料	
おかげ踊図絵馬（水度神社）	
おかげ踊図絵馬（天満神社(中)）	

府暫定登録文化財（18 件）	
富野の葬礼用具	賀茂神社拝所
枇杷庄オンマカ風呂及び関連資料	賀茂神社拝殿
枇杷庄城州一心講用具及び関連資料	西生寺本堂
中自治会文書	正行寺本堂
堀家文書	正行寺山門
市辺自治会文書	念仏寺本堂
水度神社境内	念仏寺表門
荒見神社境内	木造天部形立像（長光寺）
賀茂神社本殿	木造大將軍神像（旦棕神社）

市指定文化財（34 件）	
谷口家文書	木造阿弥陀如来立像（念仏寺）
芭蕉塚古墳	初寅の山の神まつり（中自治会）
天満宮社本殿（枇杷庄）	荒見神社 神門、透垣、中門
三縁寺大門	芝ヶ原 11 号墳出土品
木造天部半跏像（万福寺）	木造阿弥陀如来立像（長光寺）
木造天部形立像（長光寺）	水主神社本殿
鉄湯釜（水度神社）	木造阿弥陀如来立像（正行寺）
上田氏旧記	上大谷古墳群出土銅鏡 3 面
上大谷古墳群十基 附 移築 17 号墳横穴式石室	大般若經全六〇一卷 經箱七箱（水度神社）
宝篋印塔五基（深広寺）	虎図蒔絵絵馬（森山地蔵堂）
脱活乾漆造菩薩形立像（三縁寺）	黒土 1 号墳
中島家資料	家造作願書
枇杷庄オンマカ風呂及び 関連資料	黒土 1 号墳出土品
木造阿弥陀如来坐像（阿弥陀寺）	平川廃寺出土塑像一括
木造大將軍神像（旦棕神社）	狛犬（2 点）（水主神社）
木造阿弥陀如来立像（長光寺）	蓮開寺春まつり（平川区財産管理会）
木造阿弥陀如来立像（念仏寺）	寺田石棺仏

第61回研修見学会 豪商のまち松阪と 松阪市文化財センター・宝塚古墳群の見学

城陽市歴史民俗資料館 学芸員 森川 美香

11月29日(土)に城陽市歴史民俗資料館友の会の研修見学会に随行いたしました。当日は、全国的に秋晴れとの予報どおりの非常にお天気のよい一日でした。

まず、松阪市の宝塚古墳公園へ行き、整備された宝塚1号墳(5世紀初頭)と同2号墳(5世紀前半)を見学しました。1号墳は、全長111m、高さ11mの前方後円墳で、伊勢地方最大のものとされ、当時この地域を治めた有力者の古墳とされています。古墳の北側前方部寄りに「造り出し」があり、古墳と「土橋」でつながっています。この古墳の最大の特徴は、造り出しの周辺から当時のままの状態の140点もの埴輪がみつかったことです。これにより古墳築造当時の「まつり」の様子を研究する上で貴重な資料となっています。現地では、発掘調査で見つかった埴輪が復元してあり、当時の状況が非常によくわかりました。また、墳丘上からは、伊勢平野と伊勢湾が一望でき、古墳が非常に見晴らしのよい丘陵上に造られたことを体感することができました。道を隔てて2号墳があり、こちらは帆立貝式古墳と呼ばれる前方部が短い形態をしています。出土した埴輪などから、1号墳に埋葬された人の後継者の墓と考えられています。

その後、松阪市の旧市街へと移動し、松阪市観光交流センターで松阪市の紹介の映像を見たのち、各自豪商邸等を見学しました。江戸時代の松阪は、紀州藩の飛び領地となっており、紀州と伊勢、そして江戸を結ぶ交通の要衝でありました。こうした土地柄のため商業・文化が大いに発展しました。時間が限られていたため松坂城周辺には行けませんでした。松阪の街の雰囲気に触れることができました。

最後に、松阪市文化財センター(はにわ館)へ行き、学芸員の方の展示解説とともに常設展示と特別展「西のはにわと、東のはにわ」を見学しました。常設展示室では、昨年国宝に指定された宝塚1号墳出土の埴輪が展示してありました。展示室中央にあった船形埴輪はひと際存在感があり、その全長が140cm、円筒台を含めた高さが94cm、これまで見つかった船形埴輪としては最大級であり、さらに円筒台をもつ船形埴輪は初めてのことでした。もっとも印象的であったのは、櫓を差し込む穴が左3か所、右3か所の計6か所あり、すべて同一方向となっていることから船の進行方向がわかることでした。豪華な装飾を持つとされていますが、それだけではなく精緻に造られていることを実感しました。特別展示室には、群馬県の綿貫観

音山古墳出土の三人童女埴輪(国宝)や同じく群馬県塚回り古墳(重文)など見ごたえのある埴輪の展示を見ることができました。



宝塚古墳公園 宝塚1号墳

松阪市旧市街江戸時代の松坂繁栄を支えた
豪商の邸宅



春の資料紹介

テーマ：古墳へ行こう！2026+ 発掘調査速報展
令和 8 年 4 月 25 日^土～6 月 21 日^日

小学校 6 年生の社会科「日本のあゆみ」における「大昔のくらしと国の統一」の学習にあわせ、久津川車塚古墳ができるまでの様子を模型やイラストで紹介する。また、昨年度の城陽市内の発掘調査成果についても紹介します。

夏季特別展

テーマ：はじめての石器、はじまりの石器：京都盆地の旧石器
令和 8 年 7 月 18 日^土～8 月 30 日^日

旧石器時代の京都盆地南部にあたる場所において人々がどのような環境のもとで生活していたのかを考察する。そのために京都盆地南部と北部、北河内、北摂地域の旧石器を考古資料や骨格標本、動物化石などとともに展示し、旧石器時代からその終焉、縄文時代のはじまりへの変化をみていく。さらに近畿地方の特徴的な石器制作技術と石材を紹介し、一部資料についてはハンズオン展示とし、実際の資料に触れることにより理解を深められるよう取り組む。

秋季特別展

テーマ：ときめきのミュージアムグッズ（仮）
令和 8 年 10 月 24 日^土～12 月 13 日^日

ミュージアムは地域の歴史や文化的な背景を所蔵資料や研究成果をつうじて伝える機関であり、その手段としてミュージアムグッズは大きな役割を果たす。この展示では、ミュージアムグッズが何のために存在しているかを再考する手がかりとして、おもに京都府内のミュージアムグッズを展示し、その社会的、教育的役割について考察します。

冬季企画展

テーマ：ちょっと昔の暮らしと風景（仮）
令和 9 年 1 月 23 日^土～3 月 22 日^月^祝

小学校 3 年生の社会科「うつりかわる市とくらし」の学習にあわせ、昭和 30 年代の茶の間やかまどを再現展示し、電気が普及する前後の暮らしや道具の変化を紹介する。

※このほかにも、
アートギャラリー展の開催や、常設展示室の展示替えも実施します。

[五里どり館] 令和8年度の講座ご案内(7月～3月)

令和 8 年

7月

5日◎13:50～15:30

学芸員ミニ講座

「奥田駒蔵とメイゾン鴻乃巢」

対象 高校生以上 定員 15 名 (先着順)
申込 6 月 28 日(日) 10:00 から電話で申し込み
費用 無料

19日◎13:30～15:30

勾玉をつくろう！

対象 小・中学生 定員 10 名 (先着順)
申込 7 月 12 日(日) 10:00 から電話で申し込み
費用 200 円

29日◎13:30～15:30

和同開珎をつくろう

対象 小・中学生 定員 10 名 (先着順)
申込 7 月 20 日 (月・祝)10:00 から電話で申し込み
費用 200 円

8月

8日◎13:30～15:30

勾玉をつくろう！

対象 小・中学生 定員 10 名 (先着順)
申込 8 月 1 日(日) 10:00 から電話で申し込み
費用 200 円

9日◎13:30～16:00

埴輪・土器をつくろう！

対象 小・中学生 定員 15 名 (先着順)
場所 寺田コミュニティセンター美術工芸室
講師 梅原武平先生 (志津川陶芸教室)
申込 8 月 2 日◎10:00 から電話で申し込み
費用 1000 円

21日◎13:30～15:30

銅釧(古墳時代の腕輪)をつくろう！

対象 小・中学生 定員 10 名 (先着順)
申込 8 月 14 日◎10:00 から電話で申し込み
費用 500 円



9月

12日◎13:30～15:30

勾玉をつくろう！

対象 小学生以上 定員 10 名 (先着順)
申込 9 月 5 日(日) 10:00 から電話で申し込み
費用 200 円

10月

11日◎13:30～15:30

背守り(吉祥紋の刺繍)をつくろう！

対象 18 歳以上 定員 10 名 (先着順)
申込 10 月 4 日(日) 10:00 から電話で申し込み
費用 200 円

11月

1日◎13:30～15:30

学芸員ミニ講座

対象 未定 定員 15 名 (先着順)
申込 10 月 25 日(日) 10:00 から電話で申し込み
費用 無料

15日◎13:30～15:30

勾玉をつくろう！

対象 小学生以上 定員 10 名 (先着順)
申込 11 月 8 日(日) 10:00 から電話で申し込み
費用 200 円

29日◎13:30～15:30

学芸員ミニ講座

対象 未定 定員 15 名 (先着順)
申込 11 月 22 日(日) 10:00 から電話で申し込み
費用 無料

12月

6日◎13:30～15:30

学芸員ミニ講座

対象 未定 定員 15 名 (先着順)
申込 11 月 29 日(日) 10:00 から電話で申し込み
費用 無料

申し込み時の注意点

●お1人様の申込人数は2名まで●申込期間は休館日を除きます●申込期間中に定員に達した場合申込された後、キャンセルまたは欠席される場合は、必ずご連絡ください●内容は変更となる場合がありますので、最新情報はホームページをご確認ください

令和 9 年

1月

31日◎13:30～15:30

朱印帳をつくろう！

対象 18 歳以上 定員 10 名 (先着順)
申込 1 月 24 日(日) 10:00 から電話で申し込み
費用 200 円
※表紙に使用する布 (15×21cm) を 2 枚持参してください。

2月

14日◎13:30～15:30

水引細工体験

対象 18 歳以上 定員 10 名 (先着順)
申込 2 月 7 日(日) 10:00 から電話で申し込み
費用 200 円

28日◎13:30～15:30

手織り体験

対象 小学生以上 定員 10 名 (先着順)
申込 2 月 21 日(日) 10:00 から電話で申し込み
費用 200 円

3月

7日◎13:30～15:30

学芸員ミニ講座

対象 未定 定員 15 名 (先着順)
申込 2 月 28 日(日) 10:00 から電話で申し込み
費用 無料

21日◎13:30～15:30

勾玉をつくろう！

対象 小学生以上 定員 10 名 (先着順)
申込 3 月 14 日(日) 10:00 から電話で申し込み
費用 200 円



参加お申し込みは **五里どり館(城陽市歴史民俗資料館)**

610-0121 城陽市寺田今堀 1 番地 文化/パルク城陽西館 4 階

電話 0774-55-7611 FAX0774-55-7612

<https://www.city.joyo.kyoto.jp/category/8-3-2-0-0-0-0-0-0-0.html>

ホームページはこちら▶

